

哲風会通信

2018. 2 VOI・74

年が明けて1カ月が過ぎました。しばらく雪の少ない期間があったので今年は暖冬だと思っていたのですが、過去最大級の寒波であつという間に銀世界になってしまいました。2月を越せば雪も落ち着くと思いますが、インフルエンザの流行もありますので、手洗い、乾燥に注意して体調管理を忘れないようにしましょう。



保険で白い歯

少し前までの保険治療では、基本的に白い被せ物は前歯でしか作れませんでした。皆さんの中にも、奥歯の治療で保険治療を選択した時に、銀歯と呼ばれる金属の被せ物しか選択肢がなかった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。あまり知られていないかもしれませんが、実は数年前の保険改正もあり、CAD/CAM冠と呼ばれる新しい材料が認可されたため、保険でも小臼歯に白い被せ物を作れる選択肢が増えました。さらに昨年未からは、条件付きで下顎の6番目の歯(第一大臼歯)も保険で白い被せ物(CAD/CAM冠)を作れるようになりました。条件とは、上と下の両方の7番目の歯(第二大臼歯)が全て残っていてしっかり噛み合っている場合ですので、まだすべての患者さんが当てはまるわけではないので注意が必要です。また、金属アレルギーのある方も(皮膚科医での診断書の提供があれば)保険で大白歯でも白い被せ物を作れる場合があります。保険で作れる白い被せ物の特徴として、メリットとデメリットをあげてみたいと思います。

◎メリット…白いので銀歯に比べて自然で目立たない。金属を使わないので金属アレルギーを起こす心配がない。

◎デメリット…銀歯より強度は劣る。自費診療のセラミックと違い、年数が経つと着色する。ブリッジ等には使えない。

やはり一番の長所は銀歯のように笑った時に目立たないことでしょう。短所としては、割れる可能性があることや、着色する素材である事が挙げられます。保険のブリッジに関

しては条件がありますが、前から4番目の歯(第一小白歯)を白く出来るようになりました。

このように材料や機材の進歩によっては、いずれもっと多くの部位で白い歯を保険で作れるようになるのかもしれませんがね。もちろん材質の強度や安定性、審美性では自費診療のセラミックやジルコニアと比べて劣るのは事実なので、どれを選ぶかは説明を聞いて納得してから決めましょう。これから治療をする方はもちろん、今入っている銀歯が気になる方は一度相談してみてもいいでしょうか。

今月の通信担当

今月の担当、むさしデンタルオフィスの高木です。実は年末に水疱瘡にかかってしまいました。30代後半にして水疱瘡を発症するとは思いませんでした。大人の水疱瘡は重症化しやすいと言いますが、まさにその通りで年末年始は寝たきりで仕事始めにも数日間お休みをもらいました。その後は自分から子供に水疱瘡をうつすという恥ずかしい事になりました。ただ、大人になってかかるよりは絶対子供のうちに済ませておいた方がいいですね、経験者として断言します！ 自分も昔の事なので子供の頃に水疱瘡にかかったことがあったか、抗体があるのかわかりませんでした。不安な場合には医療機関で抗体があるか調べてもらえるので、検査だけでもしてみる事をお勧めします。



医療法人 哲風会
むさしデンタルオフィス

〒010 - 0912
秋田市保戸野通町4 - 8
TEL:018-853-8214
フリーアクセス:0800-800-8461

医療法人 哲風会
ちづ歯科クリニック

〒018 - 1605
南秋田郡八郎潟町川崎字昼寝
233 - 1
TEL:018-875-2801

